

94年カンヌ映画祭・最優秀監督賞を受賞した  
「親愛なる日記」の続編とも言える最新作。

ナンニ・モレッティの

# エイプリル

監督・脚本・製作・主演：ナンニ・モレッティ ●撮影：ジュゼッペ・ランチ  
編集：アンジェロ・ニコリーニ  
●シルビオ・オルランド、シルビア・ノノ 助監督：アンドレア・モライオーニ  
衣装：ヴァレンティーナ・タヴィアーニ/美術：マルタ・マッフッチ/録音：アレッサンドロ・ザノン/製作：アンジェロ・  
バルバガット、ナンニ・モレッティ/共同製作：Sacher film-Bac films,  
Le Studio Canal+ -La Sept Cinéma/協力：Rai - Canal+ ●1998年  
イタリア=フランス/カラー/35mm/78分 ●配給・宣伝：アルシネテラン

Aprile



98年カンヌ国際映画祭正式出品作品・大阪ヨーロッパ映画祭正式招待作品

あのモンシット、  
遂に父親に？



# イタリアの巨匠モレッティ、子持ちになってパワー全開!



ナンニ・モレッティの

## エイプリル



一度観るとクセになる愛すべきモレッティ作品

自作自演のモレッティの主人公の役名は「青春のくずや〜おほらい」「監督ミケーレの黄金の夢」「僕のピアンカ」「赤いシュート」まで、「ジュリオの当惑」を除いて常に「ミケーレ」だった。ミケーレは因々

しくてしたかで、時にはペンギンにも狼にも変身してしまう多重人格者。その上、マザコンで喧嘩っばやくて潔癖症と矛盾と未熟さが棲息しているキャラクター。しかし「親愛なる日記」以降、彼は分身ミケーレと別れて映画監督ナンニ・モレッティとして登場する。

94年カンヌ映画祭、最優秀監督賞を受賞した「親愛なる日記」の続編ともいえる最新作「エイプリル」は脚本家、映画監督、作家、プロデューサーであり、父親でもあった93年3月〜97年8月にかけての出来事を日記形式で綴っている。人称で物語を進めるのらいたい欲求が映画に突っ走り、その過剰な分だけ滑稽になってしまう彼独特のユーモアとアイロニーがあるからこそ、モレッティ作品を人々は愛してやまないのである。本国イタリアでは大ヒットを記録し、98年カンヌ国際映画祭正式出品作にも選ばれた話題作。テレビや雑誌だけでは得られないイタリアのリアルな日常を垣間見れる楽しさが溢れている。



画監督、作家、プロデューサーであり、父親でもあった93年3月〜97年8月にかけての出来事を日記形式で綴っている。人称で物語を進めるのらいたい欲求が映画に突っ走り、その過剰な分だけ滑稽になってしまう彼独特のユーモアとアイロニーがあるからこそ、モレッティ作品を人々は愛してやまないのである。本国イタリアでは大ヒットを記録し、98年カンヌ国際映画祭正式出品作にも選ばれた話題作。テレビや雑誌だけでは得られないイタリアのリアルな日常を垣間見れる楽しさが溢れている。

【ストーリー】95年秋、妻のシルヴィアがつかの間、すぐに自分が父親になれるかで頭の中が一杯になるモレッティ。赤ちゃるべきことは山のようにある。一番の困難を決める事だ。また胎教も怠ることは出来ない。「胎児は大きいスクリーンと最高のサウンドシステムが完備された映画館で良い映画を観るべきだ」との信念の下シルヴィアと映画に出かけるが、作品はどのようなものだった。まだ見ぬ我が子の发育を妨げているのでは、と恐れるモレッティ。



妊娠した。喜びもどうかという不安んの誕生までにすは赤ちゃんの名前を

そして98年4月18日、遂に息子の誕生。その日はイタリアの歴史上初の左翼の勝利の日でもあった。大喜びのモレッティとシルヴィア。そしてこの日からモレッティの子育てがはじまった。しかし、父親としての新しい役割に加えて、仕事でも問題を抱えるモレッティはパニックに陥って…。



ナンニ・モレッティ監督【親愛なる日記】

1994年度作品……

「親愛なる日記よ、この世には僕の大好きなことがある」という語りかけて幕を開ける。94年カンヌ映画祭最優秀監督賞受賞作品。〈第1章・ベスバに乗って〉は、モレッティの好きな場所、行動、そして心境を綴ったこだわりのローマ案内。彼の憧れの人、ジェニファー・ビールズ本人が登場する。

〈第2章・鳥めぐり〉は、静かな仕事場所を求めて、旧友と共にシチリア周辺の島々をめぐる珍道中。〈第3章・医者めぐり〉は、かゆみを覚えたモレッティが、誤診がもたらす様々な医師をめくり、果ては手遅れのガンと宣告されるという実体験に基づいた悲喜劇。(配給:フランス映画社)

alciné terran

11月27日(土) やっぱイタリアが面白い!! ●11/27(土)~12/3(金) 1:50/5:20/夜8:50  
特別鑑賞券1500円・セット券2800円 ●12/4(土)~10(金) 12:00/夜9:00  
●12/11(土)~17(金) 夜9:00  
【セット券は「エイプリル」+「真善に嘘やさしく」限定】  
【当日一般1800円、学生1500円、高・中・小・シニア1000円】

「真善に嘘やさしく」  
●11/27(土)~12/3(金) 3:25/6:55  
●12/4(土)~10(金) 1:35/3:25/5:15/7:05  
●12/11(土)~17(金) 朝10:30

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩2分  
シネ・ヌーヴォ  
TEL.06-6582-1416